

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	当院における stage IV 腎癌の治療成績と予後予測因子・治療効果予測因子についての検討
	研究目的	初診時に転移を有する腎細胞癌 (stageIV) の治療成績の報告はまだ少ない。特に免疫チェックポイント阻害薬を投与した患者さんに対して原発巣切除をした場合とそうでない場合については治療成績が変動するのかわかしくは日本での報告がなく世界での報告も少ない。そこで当院での stageIV 腎癌を検討し治療成績や予後予測因子、治療効果予測因子などを解析することで今後の治療方針決定の一助にする。
	研究対象者	2014 年 4 月から 2023 年 8 月に当センター泌尿器科にて転移性腎癌に対する治療を受けた患者さん。
	研究期間	西暦 2022 年 7 月 11 日～西暦 2024 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	当センター研究責任者	山本章太郎
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	泌尿器科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター 泌尿器科 山本章太郎 syamamoto@kcch.jp